

科目名 (科目番号)	医療と倫理 (061291)	教員名 馬場 智理	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		非常勤		
授業概要	現代の医療現場で生じている問題を取り上げ、そこに含まれる倫理的課題について検討する。授業の中で、実際に自分の意見を明確化する作業を通して、医療従事者としての倫理的態度を涵養することを目的とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医療における倫理の意義	到達目標: 医療における倫理の必要性について理解する。 学習内容: 医療における倫理的問題の特徴について学ぶ。				
	2	出生をめぐる生命倫理(1)	到達目標: 出生前診断の倫理的問題について自ら考える。 学習内容: 出生前診断の現状と問題について学ぶ。				
	3	出生をめぐる生命倫理(2)	到達目標: 生殖補助医療の倫理的問題について自ら考える。 学習内容: 生殖補助医療の現状と問題について学ぶ。				
	4	出生をめぐる生命倫理(3)	到達目標: 生命操作の倫理的問題について自ら考える。 学習内容: 現代医学における発展的生殖技術について学ぶ。				
	5	死をめぐる生命倫理(1)	到達目標: 脳死の倫理的問題について自ら考える。 学習内容: 臓器移植と脳死の歴史について学ぶ。				
	6	死をめぐる生命倫理(2)	到達目標: 尊厳死の倫理的問題について自ら考える。 学習内容: 終末期医療の問題について学ぶ。				
	7	生命倫理の展望	到達目標: 医療活動をどのように選択すべきかについて自ら考える。 学習内容: 現代の医療現場がかかえる問題について学ぶ。				
	8	医療人の未来	到達目標: 自らの目ざす医療人のあり方をイメージする 学習内容: 現代～未来の医療現場の展開について学ぶ。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	<p>期末試験(100%)によって評価する。 三分の二の出席数、及び期末試験の受験両方を充足していないと、成績評価を行わない。また、私語等の素行不良があった場合も、成績評価を行わないので注意のこと。</p>						
教科書	特に使用しない。						
参考図書	授業中に適宜指示する。						
教員からのメッセージ	倫理学の問題をより身近なものとして考えてもらうために、授業中の発言やリアクションペーパーの記述などの作業を行ってもらうので、受講者諸君には主体的に授業に参加することを期待する。						